

保護者の皆様

札幌市立手稲山口小学校
校長 櫻田 悟

「全国学力・学習状況調査の結果」概要のお知らせ

今年度4月に6年生の児童を対象に全国一斉「全国学力・学習状況調査」が実施され、2学期に入り文部科学省と札幌市からそれぞれ調査結果が公表されました。つきましては、本校の調査結果の概要についてお知らせいたします。

なお、諸調査により測定できるのは学力の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることを御承知おきください。



【国語】

本校の概要	◇「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 ▼「情報の扱い方に関する事項」は、全国平均より下回っている。 ◆「話すこと・聞くこと」は、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ▼「書くこと」は、全国平均より下回っている。 ◇「読むこと」は、全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
課題	【言葉】 比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 【情報】 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 【話聞】 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。 【書】 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 【読】 目的に応じて、必要な情報を見付けること。 「林さんのメモ」 ◆「生活と太陽」という本には、 「白は熱や光を反しやする色の ため、熱くなりにくい。一方、 黒は熱や光をきゅうしゅうし、 熱くなりやすい。」と書かれてい る。特に強い日差しが照りつけ るえん天下では、黒い服より白 い服を着る方が、すずしく過ご すことができそうだ。
改善の方向	【言葉】 実際に話したり聞いたりする中で触れてきた、比喩や反復、倒置などの表現の工夫についてまとめて整理する学習活動の充実。 【情報】 目的や意図を明確にし、複数の叙述や語句の関係を図示などにより整理することを通して、考えをまとめる学習活動の充実。 【話聞】 具体的な相手や目的を意識して、自分が伝えたいことの中心が明確になるように理由や事例などを挙げ、筋道を立てた構成を検討する学習活動の充実。 【書】 引用する目的を明確にし、原文を正確に引用したり、引用した部分と自分の考えとの関係を明確にして、区別しながら書き表したりする学習活動の充実。 【読】 読む目的を明確にし、筆者の考えや文章の中で挙げられている事例、読み手自身の経験など、複数の情報を取捨選択・整理・再構成しながら考える学習活動の充実。

【算数】

本校の概要	◆「数と計算」は、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ▼「図形」は、全国平均より下回っている。 △「測定」は、全国平均より上回っている。 ◆「変化と関係」は、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ◆「データの活用」は、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
課題	【数と計算】異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述すること。 例) $\frac{7}{3}$と$\frac{7}{4}$のどちらの方が大きいかを判断し、そのわけを書く。 $\frac{7}{3}と\frac{7}{4}を通分すると、\frac{7}{3}は\frac{28}{12}、\frac{7}{4}は\frac{21}{12}$ なので、$\frac{7}{3}$の方が大きいです。 【図形】立方体の体積の計算による求め方について理解すること。 例) 一辺が8 cmの立方体の 体積を求める式を書く。 【変化と関係】百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めること。 例) イシガメ 14 匹が動物園全体のカメの数の 20%に当たるときの、動物園全体のカメの数を求める式と答えと書く。 【データの活用】日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述すること。 例) 四つの箱のまとめ方によって宅配便の送料に違いがあるかを調べるために、直方体イの送料の求め方とその答えを書く。 直方体イの3辺の長さは、それぞれ25cm、$10 \times 2 = 20$で20cm、$7 \times 2 = 14$で14cmです。3辺の長さの合計は、$25 + 20 + 14 = 59$で、59cmです。59cmは60cm以下なので、送料は920円です。
改善の方向	【数と計算】数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察できるようにする学習活動の充実。 【図形】図形を構成する要素に着目し、立方体の体積が、(一辺) × (一辺) × (一辺) という公式で求められることを理解できるようにする学習活動の充実。 【変化と関係】問題場面から、基準量、比較量、割合の関係を捉えることができるようにする学習活動の充実。その際、何が基準量で何が比較量にあたるのかを的確に把握し、計算に結び付ける。 【データの活用】問題解決に必要な直方体を構成する要素を見いだし、それを活用できるようにする。

【質問調査】

全国と比べて顕著だったことを抜粋しました。

- △「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる子」が多い。
- △「学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思っている子」が多い。
- △「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた」と答えた子が多い。
- △「国語の授業の内容はよく分かる」と答えた子が多い。
- △「学校の勉強のことについて、親や家族と話している」と答えた子が多い

- ▼「算数の勉強が好き」と答えた子は少ない。
- ▼「学校以外で、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている」子は少ない。

保護者の皆様には、日頃から本校の学習活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。引き続き、お子さんの家庭学習を応援していただけると幸いです。

特に、算数は「積み上げ」の教科です。御家庭では、ほかの教科以上に、分かっているかいないかを確認したり、学校をお休みした日など、できなかったページをフォローアップしたりしていただけると助かります。

学校でも、算数に重点を置いて、子どもたち一人一人の基礎学力の定着を目標に日々の教育活動に取り組んでまいります。

今後も保護者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

